

10th Anniversary Hibiya Library & Museum



広重
「名所江戸百景」の旅
あの名作はどこから
描かれたのか？
● 安村 敏信 監修
● 平凡社
● 2015年



有職の色彩図鑑
由来からまなぶ
日本の伝統色
● 八條 忠基 著
● 淡交社
● 2020年

展示 PICK UP ①
■ 3階ホール 図書フロア展示
知を重ねる十年を重ねる
「重」からひもどく
十の知を集める
十年の歳月を重ねた日比谷図書文化館。「重ねる」の「重」の文字からひもどいた十の知にまつわる書物を集めてみました。重要文化財・布を重ねる・漆塗りお重箱・味を重ねる・体重を量る・重圧と重力・年を重ねる・重要人物・版を重ねる・重宝する 図書館をめざす、十の個のテーマで、いつもの分類では隣同士に並びえない、十周年を迎えるいまだけの巡りあわせをお楽しみください。

11/1(月)～12/26(日)



江戸が東京になった日
明治二年の東京遷都
● 佐々木 克 著 ● 講談社
● 2001年

展示 PICK UP ②
■ 2階パーブルゾーン 三角台
1階特別展「江戸から東京へ」
関連図書展示
東京遷都
―近世から近代へ―
日本は明治維新によってゆるやかに変化しました。本展示では、江戸から東京へ様変わりした当時の世の中の様子や、近代化・西欧化の道を進みはじめ、その後訪れた文明開化での人々の生活の様子など、激動の時代における日本の変化について取り上げた本を紹介いたします。

～12/19(日)

11月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

3F エレベーターホール
「日比谷図書文化館 特別展の10年～図録編～」(11/1～12/26)
ミュージアム機能を担う1階特別展示室では、文化・芸術など様々な情報発信を行ってきました。2011年の開館以来34本の特別展が開催され、多くの方にご来場いただきました。本コーナーではこれまでに開催された展示会の図録を紹介いたします。1階で同時開催のポスター展とあわせてお楽しみください。

3F ブルーゾーン
「ミステリーの誘惑」(～2022/2/18)
謎が解き明かされていく様子を追うだけではなく、隠された真実やトリックを深く読み解くことが推理小説の醍醐味の一つです。「深読み」で更に面白くなる作品をジャンルごとに集めました。多種多様な推理小説をご堪能ください。

3F エレベーターホール
「年表と資料で振り返る日比谷の10年」(11/1～12/26)
日比谷図書文化館の10年の歩みを、その時々のお出来事を記した年表や資料で振り返ります。また、ガラスケースでは10年をすころく表現したものを展示しています(1階でも同様のものを掲示)。この機会に、これまでの日比谷図書文化館の足跡をご覧いただき、図書館により一層親しみを感じていただければと思います。

3F グリーンゾーン
「装い～身にまとう表現～」(～2022/1/14)
「装い」といっても着るものだけではなく、髪型、化粧、時計、身にまとう物全てがその人自身を表現する装いとなります。その装いをぎゅっと集めて、展示を見た方に新しい発見と、楽しんで終わりでなくリサイクル・リユースなどの取り組みについても知っていただけたらと思います。

calendar 開館時間：平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時 ■ 日祝10時～17時 ■ 休館日

| 2021年 11月 | | | | | | | 2021年 12月 | | | | | | |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |
| 28 | 29 | 30 | | | | | | | | | | | |

掲載されている内容について変更や中止となる場合があります。最新情報は、ホームページ等をご確認ください。



お問合せ先：千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL：施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/

▶▶▶ 館内では常時マスクをご着用ください。入館の際は、手指消毒・検温のご協力をお願いします。

東京一日新図(部分)/特別研究室所蔵

日比谷図書文化館は、11月に開館10周年を迎えます。百年余りの歴史を誇る都立日比谷図書文化館から2011年11月4日、千代田区立日比谷図書文化館へと生まれ変わりました。「図書館」「ミュージアム」「カレッジ」そして「交流」を通し、「想像力」「好奇心」を刺激し引き出す「知の拠点」を目指した複合文化施設です。今回、開館10周年を記念し「知を重ねる、十年を重ねる」日比谷から未来へ」と題し、館内で様々な企画展示を行います。タイトルの「重ねる」の「重」には、おもみ、かさなり、大切なことなどの意味があり、音読みの「じゅう」には十年の「じゅう」への想いも込めています。それぞれの展示では、日比谷図書文化館の積み重ねられた10年を振り返ります。これからの皆さまでとって知を重ね、未来へとつながる場となるように、努めてまいります。

日比谷から未来へ
知を重ねる
十年を
重なる

2021
10/22(金)
12/26(日)

日比谷図書文化館
開館10周年記念

10th
Anniversary
Hibiya Library & Museum

11・12月の講座

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

11/3 (水・祝) アスリートのメンタルヘルスを考える ～よわいはつよいプロジェクトからのメッセージ

講師：小塩 靖崇(国立精神・神経医療研究センター 研究員)
川村 慎(日本ラグビーフットボール選手会会長)

アスリートを含め、誰もが心の不調を経験します。しかし、そういった心の様子を人に語ることは「よわい」人間がするものというイメージがあります。そのようなイメージを変えるべく始まったのが、「よわいはつよいプロジェクト」です。これまでの知見を紹介し、アスリートのメンタルヘルスを考える機会とします。※川村 慎選手の追加登壇が決まりました。



小塩 靖崇 川村 慎

■日時：11月3日(水・祝)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：100名 ■参加費：1000円

11/7 (日) 千代田区民講座 スロー動画で見る 昆虫たちの知られざる世界

講師：高嶋 清明(昆虫写真家)

人の目では速すぎてとらえられない昆虫たちの様々な行動を、スロー動画でじっくり観察します。多種多様な飛翔スタイル、肉食昆虫の目にもとまらぬハンティング、鳴く虫たちの発音の秘密などなど、「身近な隣人」昆虫たちの知られざる世界に迫ります。(主催：NPO法人 神田雑学大学、共催：日比谷図書館)



■日時：11月7日(日)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：60名 ■参加費：無料

11/8 (月)他 <日比谷オペラ塾>井内美香が語る短期集中講座(全2回) 栄光のミラノ・スカラ座の歴史

講師：井内 美香(音楽ライター、オペラ・キュレーター)

イタリア・オペラの殿堂と呼ばれるミラノ・スカラ座。ロッシーニ、ベッリーニ、ドニゼッティ、ヴェルディ、プッチーニなどの名作オペラが数多く誕生し、またマリア・カラスをはじめとする世紀の名歌手たちが歌声を残しました。スカラ座の誕生から発展、そして歴史的名演を紹介しながら、オペラの殿堂の秘密に迫ります。(主催：フェニーチェ劇場友の会、共催：日比谷図書館)

■日時：前編「都市と劇場の理想的なつながり」
11月8日(月)14:00～15:30(13:30開場)
後編「殿堂に響いた名歌手たちの歌声」
11月19日(金)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：各回60名
■参加費：各回1500円

11/11 (木) 第16回ジャパンレッジ講演会 お江戸ほーりー文化講座⑨ 江戸のくらし～時代劇&時代小説が3倍楽しくなる?! 衣食住の実態～

講師：堀口 茉純(歴史作家、タレント)

最近ではお江戸系ユーチューバーとしても活躍する堀口氏。「江戸っ子は夜遊び大好きだった!」「お江戸女子は超オシャレ!」「江戸に学ぶSDGsとは?」「じつは江戸っ子も、お肉、食べていました…」など、江戸庶民の想定外に面白い日常を解き明かします。(主催：株式会社ネットアドバンス、共催：日比谷図書館)



■日時：11月11日(木)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：100名 ■参加費：1000円

11/13 (土) 日比谷図書館開館10周年記念ワークショップ 紙とボードで日比谷図書館をつくる(第2回)

講師：今村 仁美(アトリエ イマージュ代表)

日比谷図書館開館10周年を記念し、建物の正面だけを切り取った「壁に掛ける建築模型」を手がける今村仁美氏による日比谷図書館の建築模型ワークショップを開催します。日比谷図書館の建物は独特な形状のため、今回は正面から見た建物の外観ではなく、講師が印象的に感じたアングルでの建築模型を紙とスチレンボードで制作します。当日は動画を見ながら模型制作キットを使用して日比谷図書館を手作りで再現してみましよう。※制作する模型は色味の違いはありますが、アングル、手順は第1回(10月23日)と同じです。

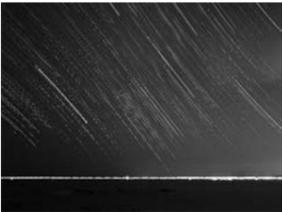


■日時：11月13日(土)14:00～17:00(13:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：20名 ※中学生以上の方にご参加いただけます。 ■参加費：2500円(材料費込み)
■持ち物：カッティングマット(A4サイズ程度)、定規(できれば30cm、ない場合は15cm程度でも可)、カッターナイフ(事務作業用)、筆記用具

11/16 (火) 星のソムリエ®が語る ～星空と音楽～

講師：皆川 敏春(星のソムリエ®みたか)、北崎 直子(星のソムリエ®みたか)

人類を魅了し続ける星空。宇宙、天文という科学、物理や数学の世界と思われがちですが、実は自由な領域です。今日は難しいことは抜きにして、純粹にアーティストたちの見た星空に音楽を通して触れてみましょう。星のソムリエ®がその時期の星空の話題を盛り込みながら音楽と宇宙のかかわりを天文史とヨーロッパの音楽史の両面から聴き比べます。



撮影：皆川 敏春氏

■日時：11月16日(火)14:00～16:00(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：100名 ■参加費：1000円

11/17 (水) 展覧会への入口講座Vol.31 千代田区内ミュージアム連携企画 東京・国立・近代・美術館で見る民藝の100年

講師：花井 久穂(東京国立近代美術館企画課主任研究員)

東京国立近代美術館では、10月26日より「柳宗悦没後60年記念展 民藝の100年」が開催されます。100年経ってもなお注目が集まる「民藝」のモダンな「編集」手法と、ローカルなネットワークに注目した展覧会の見どころをお話します。

■日時：11月17日(水)18:00～19:30(17:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：100名
■参加費：1000円(千代田区民 500円)



はびろ 《羽広鉄瓶》 山形県 1934年頃 日本民藝館

12/2 (木)他 <日比谷オペラ塾>香原斗志が語る短期集中講座(全2回) 名作オペラのヒロインの実像

講師：香原 斗志(オペラ評論家)

■日時：前編『椿姫』のヴィオレッタの真実
12月2日(木)14:00～15:30(13:30開場)
後編『蝶々夫人』の蝶々さんの真実
12月21日(火)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：各回60名 ■参加費：各回1500円

12/4 (土) 半藤一利『焼けあとのちかい』に学ぶ 一開戦日12月8日を前にー

講師：塚本 やすし(絵本作家)、藤代 勇人(紙ヒコキ舎主宰)、村山 祐季子(ゆきこミュージックスタジオ主宰)

■日時：12月4日(土)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：100名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)
※千代田区民親子連れ500円(同伴のお子様1名様限り無料)

12/5 (日) 古書で紐解く近現代史セミナー第38回 大連の成立 ー満洲経営の中心地はどう造られたのか

講師：長谷川 恰(皇学館大学文学部国史学助教)

■日時：12月5日(日)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■定員：100名
■参加費：1000円(千代田区民・学生500円)
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

12/19 (日) シリーズ：女性たちの芸術第1回 フェミニズム/ジェンダーからみる女性画家たちの「戦争」

講師：吉良 智子(美術史・ジェンダー史研究者)

■日時：12月19日(日)14:00～15:30(13:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：100名 ■参加費：1000円

特別研究室 ● 企画展示

内田嘉吉文庫に見る 近代建築の父・辰野金吾と海を渡った建築家たち

入場無料

東京駅や日本銀行本店を設計したことで知られる辰野金吾は建築教育にも尽力し、多くの後進を育てました。今回の企画展示では辰野金吾と彼に連なる建築家による日本統治期の台湾、満洲、朝鮮半島での建築物をパネルで紹介するとともに、建築模型作家・今村仁美氏制作の東京駅、台南庁庁舎の建築模型を展示します。



台南庁庁舎建築模型制作：今村仁美(アトリエ イマージュ)

■期間：開催中～12月28日(火)
■開室時間：平日 10:00～20:00
土曜 10:00～18:00
日曜・祝日 10:00～16:00
■会場：4階 特別研究室

From Chiyoda Public Library ■ 千代田区立図書館からのお知らせ

千代田区立図書館へ行こう!

ライブラリークイズ & スタンプラリー

LIBRARY QUIZ & STAMP RALLY

千代田区立図書館5館にまつわる問題に答えていただくクイズラリーを開催します。全館を巡って全問解答した方にはオリジナルクリアファイルを差し上げます! また、5館のうち、3館のスタンプを集めた方にもプレゼントを! 秋の図書館巡りをお楽しみください。(参加無料)

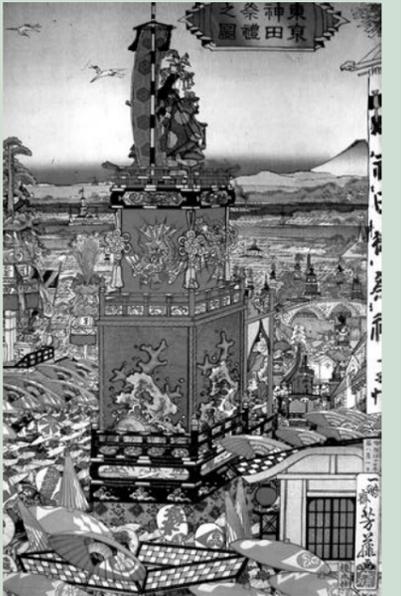
- 会期：10月25日(月)～11月14日(日)
- 会場：千代田区立図書館 5館

※詳しくはホームページで。

タイムトリップ 江戸から東京へ

～資料で綴る千代田の風景～

千代田区には、今から400年前に遡る将軍徳川家康による江戸城築城および城下町整備に始まり、明治維新後も首府として維持されてきた多くの文化財が残っています。本展は、2018年の「江戸から東京へ」の第2弾として、郷土資料を中心に、江戸・東京の名所を示す錦絵や写真、案内書などの資料をもとに千代田の歴史を紐解きながら風景の移り変わりを紹介します。江戸から東京へと風景が推移する中で歴史的な風景の変貌とともに今に残された歴史遺産の存在を感じてください。



神田御祭礼図

開催中～12月19日(日)

※11月23日(火)以降一部展示替え
■閉室日：休館日 11月15日(月)、展示替え日 11月22日(月) ■閉室時間：月～木10:00～19:00、金 10:00～20:00、土 10:00～19:00、日・祝 10:00～17:00(入室は閉室の30分前まで) ■会場：千代田区立日比谷図書館1階特別展示室 ■観覧料：一般 300円、大学・高校生 200円(千代田区民・中学生以下、障害者手帳などをお持ちの方および付き添いの方一名は無料) ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳などをお持ちください。 ■主催：千代田区立日比谷図書館 ■協力：千代田区観光協会 ■監修：後藤宏樹(前日比谷図書館文化財事務室学芸員)

◇ 開館10周年記念

ポモータ11月号 SPECIAL COVER!!

今回の日比谷図書館広報誌ポモータ11月号は開館10周年を記念したスペシャル版です。図書館にある本はサイズが様々なため市販のブックカバーが見つからなくて困ったことはありませんか?ブックカバーは大切な本を守るだけでなく、読んでいる人のプライバシーを守る役割もあります。そこで、今回の11月号はブックカバーとしてもお使いいただけるスペシャルな仕様としました。広報誌として情報をご覧いただけるのはもちろんのこと、本に合わせて折ればブックカバーに大変身!図書館の本や日頃持ち歩いている本にポモータ(SPECIAL COVER)を是非ご利用ください。具体的なブックカバーの作り方は、日比谷図書館公式Twitter(@HibiyaConcierge)でご案内しています。



ブックカバー作成例 (単行本サイズ)

